

授業科目名	社会法特論（社会保障法Ⅰ）	選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブタイトル	社会保障法総論、年金、医療保障を学ぶ	担当者	坪 義生			
講義概要	<p>【概要】 社会保障法という名称の法典はありません。社会保障法とは、社会保障に関する多くの法律の総称です。医療、年金、福祉など、社会保障の諸制度は、国民生活に欠くことのできない重要な役割を担っています。前半に当たる本講では、社会保障法に関する総論的課題（社会保障法の特質、理論と課題）、年金、医療保障を学びます。あわせて、実務家(社会保険労務士)の立場から実務の一端について講じ、理解の一助としていきます。</p> <p>【到達目標】 社会基盤として私たちの日々の生活に密着した制度でありながら、年金や医療保険など、その仕組みは複雑です。本講義を通じて、社会保障の諸制度の全体像を把握するとともに制度の仕組み、法的関係を理解します。</p>					
履修条件	「社会法特論（社会保障法Ⅱ）」とあわせて労働法全体の講義内容となりますので、原則として一方のみの履修は認めません。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 西村健一郎 『社会保障法入門』 有斐閣</p> <p>【参考書】 佐藤進他『社会保障判例百選』第三版 有斐閣 坪義生 『社会保険・労働保険の実務 疑問解決マニュアル』 三修社</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス					
2	社会保障法とは					
3	社会保障法の体系					
4	医療保険Ⅰ(日本の医療保障制度の特徴、高齢者医療)					
5	医療保険Ⅱ(健康保険法の保険者、適用事業、被保険者等)					
6	医療保険Ⅲ(健康保険法の保険給付その1)					
7	医療保険Ⅳ(健康保険法の保険給付その2)					
8	医療保険Ⅴ(健康保険法の費用負担、国民健康保険法)					
9	年金保険Ⅰ(公的年金の意義、公的年金制度の変遷と体系)					
10	年金保険Ⅱ(国民年金法の被保険者、国民年金の給付の概要)					
11	年金保険Ⅲ(老齢基礎年金、障害基礎年金)					
12	年金保険Ⅳ(遺族基礎年金、第1号被保険者の独自給付)					
13	年金保険Ⅴ(厚生年金の適用事業、被保険者、年金給付の概要)					
14	年金保険Ⅵ(老齢厚生年金、在職老齢年金)					
15	年金保険Ⅶ(障害厚生年金、遺族厚生年金)					
評価方法	原則として、毎回、前回の講義内容について小テストを実施し、その結果に授業態度を加味して評価する。小テストの提出率が50%に満たない場合は評価の対象外とする。					
評価基準	上記授業単元の内容について、概略を理解した者は「C」、その背景や理由等も理解した者は「B」、さらに、主要な学説や判例を理解し、自己の見解を適切に表現できた者は「A」とする。単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	期末試験は実施しない。					